

カリフォルニア： 気象と状況と米の作柄概況

2002 年 6 月 11 日

2002/03 年産カリフォルニア米の作付けは、485 千エーカー（196 千 ha）と合衆国農務省は 2002 年 4 月の段階で発表しているが、この数値は 2001/02 年産の 2,5%増である。カリフォルニア米産業界の一部には、台湾向けの短粒種の輸出を見込み、短粒種の作付けを殖やした農家も有ると推定している。日本向け SBS の見込み薄から、日系の短粒種の作付けが激減したが新しい市場の出現と、籾価格の多少の改善から、米作付面積の増加の現象と成ったとも言える。

2002/03 年産の播種は 4 月 14 日までに 1%の圃場で行われ、略平年（過去 5 年平）並である。その後の播種作業の進捗は平年より早く進み、5 月 26 日現在で 95%の圃場で播種は完了（5 年平均 86%）した。尚、65%の水田で稲は出芽している（平年：52%）。6 月 9 日現在では播種完了 100%で、80%の圃場にて出芽している（5 年平均：84%）。例年より早い進捗であり、水田での作業は雑草駆除の薬剤散布が主たる作業と成っている。

幼苗の生育状況は気温に恵まれ順調である。

サクラメント平原の米主産地は、Colusa 郡（28%）、Butte 郡（20%）、Glenn 郡（18%）、Sutter 郡（17%）、Yuba 郡（7%）等の他 Yolo、Sacramento 郡等が続く。（内%は、サクラメント平原の総作付面積に対する各郡の作付面積率）

カリフォルニアの気象は、米の主産地サクラメント平原とその南に続くサンヨーキン平原では大きな違いがある。サクラメント平原では 4 月から降水が減少し 6～7 月に殆ど降水は無く 9 月中旬より降雨が見られるようになる。平均気温は 7 月が最高となり 75 度 F 程度であるが、日中の最高温度は 5 月末より 90 度 F をこす事もあり、7 月～8 月は連日 90 度以上となり、時に 100 度を越す。

但し、6 月～7 月に夜間の温度が下がる事があり（サンフランシスコ湾からの冷涼な空気が流れ込み、この冷氣は平原 Colusa 市と Yuba 市の中間にある小高い丘陵地；Sutter Buttes で方向を変え、サクラメント平原の南部に流れ込む）、開花したばかりの稲の花に影響し不稔の原因となる。

カリフォルニア米作付面積（1,000 エーカー）

	Long Grain	Medium	Short	Total
2001/02 crop	13	435	25	473
2002/03 crop	10	455	20	485

2002/03 年産は 2002 年 4 月 USDA 予想

生育状況：6 月 9 日現在

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Emerged 90%	0%	0	20	60	20

Good：平年並み（過去 5 年平均）

Sources: California Agricultural Statistics Service; Cooperative Extension, University of California